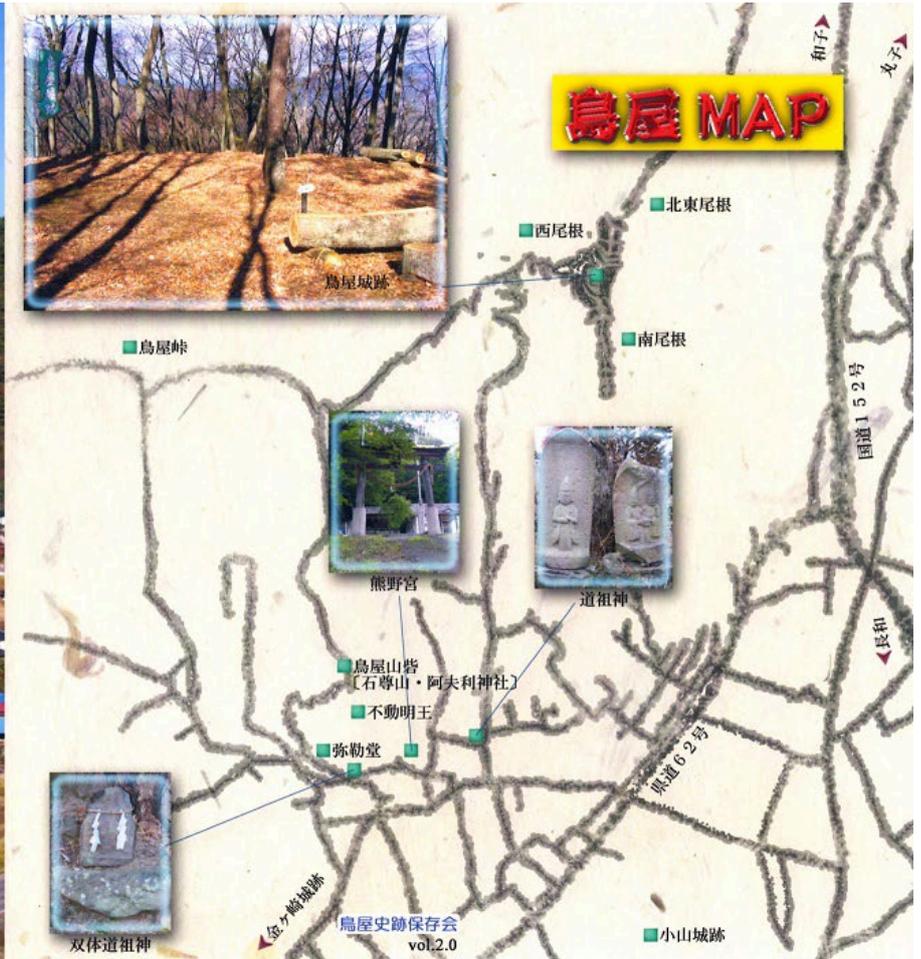


自治会	自治会名	鳥屋自治会						
	自治会 拠点住所	上田市武石鳥屋458						
	URL							
	拠点施設名 ※公民館、 自治会館など	鳥屋公民館						
	世帯数 該当世帯数に○印	50未満	100以下	250以下	500以下	750以下	1,000以下	1,000以上
自治会の紹介 位置や沿革、 成り立ち、 昔話など	鳥屋自治会は上田市武石地域の東北部位置しております。							
組 織 個人名を含まない 組織図など	自治会長、副自治会長、会計、相談役、公民館分館長、祭典長、 環境土木長、親睦会長、協議員							
おもな行事	新年会、弥勒寺祭、山の神祭、石尊山社祭、熊野社祭							
第一次 避難場所	施設名	鳥屋公民館						
	住 所	上田市武石鳥屋458						
	その他自治会で指定された施設の施設名、住所							
防犯・防災								
安 全 安協のとりくみなど								
環 境 資源回収情報など								
そ の 他 分館・育成会・消防・敬 老会・AED設置場所など								

熊野社





弥勒堂
〔弥勒菩薩坐像〕



阿夫利神社



不動明王



鳥屋城跡

鳥屋城跡

鳥屋城は武石村（現在上田市）鳥屋区小字大平と、丸子町腰越区小字上川原の樽沢山と、同町東内区小字屋坂の大年寺山の境の峰にある標高八五〇メートルの山城である。

この山城は明治十四年（一八八一）に長野県庁へ、武石村から報告した村史や、小県郡史（大正十一年刊行）では、鳥屋城のほか鳥帽子形城、首切城、依田城、大年寺城などとも呼ばれていると記している。

本郭は東西およそ四十メートル、南北およそ二十八メートルで、本郭の東西・西・南の三方には、数多くの郭が築かれていた。このうち東側には堀切が四条ある。

それぞれの堀切の間には小郭が作られていて、その先は急峻な斜面が山麓まで続いており、直下には、現在国道が南北に通じ、その東側を依田川が流れている。

昭和六十三年（一九八八）には北側山麓に小屋坂トンネルが開通した。

南北も尾根伝いに急峻な斜面が山麓まで続いている。

この山城の山麓の古道は、鳥屋より下武石や坂方面へ向かう道のほか、鳥屋より沖の牛石を通り、小屋坂峠や腰越へ向かうものと、鳥屋より小字小之入を通り、鳥屋峠を内村の和子へ下る道がある。

山城への登り口は、鳥屋方面から登る道が、比較的容易である。

なお、鳥屋峠から尾根伝いに登る道もある。

